



As-me ESTELLE

**第59期（2017年3月期）**

**決算説明会 資料**



**2017年5月29日**

証券コード:7872 東証1部

**As-me エステール株式会社**



# 目次

I. 2017年3月期 決算概要	・・・ 2
II. 今後の方向性	・・・ 14



## I . 2017年3月期 決算概要

1. 2017/3期 決算ハイライト
2. 2017/3期 決算サマリー
3. 連結損益計算書の概要
4. 既存店売上高の動向(As-meエステール単体ベース)
5. 連結貸借対照表の概要
6. キャッシュフロー計算書の概要
7. 財務の状況
8. 店舗展開の状況
9. 地域別店舗配置(宝飾店)
10. 通期業績予想(連結)
11. 配当実績と予定

## 1 2017年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2016/3期 (前期)	2017/3期	前期比 増減率	<参考> 業績予想 (2017/3期)
売上高	34,000	32,579	△4.2%	33,400
営業利益	1,146	1,360	18.7%	1,360
経常利益	1,047	1,292	23.4%	1,260
当期純利益	164	436	165.4%	530

## 2 2017年3月期 決算サマリー

わが国経済は、日銀の金融緩和による下支えなどにより緩やかな改善がみられましたが、個人消費は、景気先行きに対する警戒感などから低調に推移しました。当社グループでは、不採算店の圧縮により、店舗数が減少し、売上高は減収となりましたが、販売促進活動の効率化や不採算店の圧縮による販売費の減少により、営業利益、経常利益は増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益も増益となりました。

- ◎ 売上高は前期比4.2%減。売上高総利益率は前期比0.7%改善。
- ◎ 販管費の減少により、営業利益は前期比18.7%増の1,360百万円計上。
- ◎ 経常利益は前期比23.4%増の1,292百万円計上。
- ◎ 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比165.4%増の436百万円計上。

## 3 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2016/3期 (前期)	2017/3期
売上高	34,000	32,579
売上原価	13,091	12,303
売上総利益	20,908	20,276
販管費	19,761	18,915
営業利益	1,146	1,360
営業外損益	△98	△68
経常利益	1,047	1,292
特別損益	△252	△176
当期純利益	164	436

## 【主な収益変動要因】

■連結売上高は、当社及び㈱ブルームの不採算店の圧縮(前期末比△20店)を主因として前期比△4.2%となりました。

■連結の売上総利益率は、前期比0.7ポイント改善しましたが、売上高の減少を受け、売上総利益も同△632百万円の減少となりました。

■販管費は、不採算店の圧縮による店頭人件費と支払家賃の減少、及び販売促進企画の効率化による販売促進費の減少を主因として、前期比△846百万円の削減となりました。

■営業利益は同+214百万円増加。売上高営業利益率は4.2%と同0.8ポイント改善しました。

■営業外損益は、海外子会社で発生した為替差損43百万円(前期は、25百万円の差損)の影響はありましたが、支払利息が前期比△33百万円減少したことにより経常利益は同+245百万円の増加となり、売上高経常利益率は4.0%と同0.9ポイント改善しました。

■特別損失は226百万円計上。主に店舗等の減損損失を205百万円計上したことによるものです。

■当期純利益は、436百万円(前期比+272百万円・+165.4%増)となりました。

## 4 既存店売上高の動向 (As-meエステール単体ベース)

### 既存店売上高増減率(前年同期比)

	上期	下期	通期
2015/3期	95.4%	96.4%	95.6%
2016/3期	102.3%	101.5%	101.7%
2017/3期	100.5%	100.2%	100.3%



## 5 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2016/3期 (前期)	2017/3期
流動資産	24,759	24,526
固定資産	8,779	8,466
資産合計	33,538	32,992
流動負債	11,071	10,916
固定負債	9,433	8,805
負債合計	20,504	19,721
株主資本合計	13,096	13,265
その他の包括利益 累計額合計	△62	4
純資産合計	13,034	13,270
負債純資産合計	33,538	32,992

## 【主な財政状態の変動要因】

■流動資産は前期比△233百万円の減少。主な増減要因は、現金及び預金の増加(同+441百万円)、棚卸資産の減少(同△597百万円)、売上債権の減少(同△43百万円)などです。

■固定資産は同△313百万円の減少。主な増減要因は、有形固定資産の増加(同+86百万円)、投資有価証券の減少(同△67百万円)、敷金・保証金の減少(同△230百万円)などです。

■この結果、総資産は同△546百万円の減少となりました。

■負債合計は前期比△782百万円減少。主な増減要因は、借入金の減少(同△859百万円)、退職給付に係る負債の減少(同△132百万円)、未払金の増加(同+152百万円)などです。

■純資産は、前期比+236百万円増加。内、株主資本は同+168百万円増加しました。利益剰余金の増加同+168百万円(当期純利益+436百万円、剰余金の配当△267百万円)によるものです。

自己資本比率は、40.2%となり、2009年10月の合併以来の最高水準となりました。



## 6 キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2016/3期 (前期)	2017/3期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,844	2,006
投資活動による キャッシュ・フロー	△722	△432
財務活動による キャッシュ・フロー	65	△1,131
現金及び現金同等物 の増減額	1,186	441
現金及び現金同等物 の期末残高	7,454	7,895

## 【主なキャッシュ・フローの内容】

## 【営業活動CF】

## (資金増加要因)

税金等調整前当期利益 1,116百万円  
減価償却費 630百万円  
棚卸資産の減少 597百万円  
売上債権の減少 42百万円  
未払金の増加 91百万円  
減損損失 205百万円 など

## (資金減少要因)

法人税等の支払額 605百万円

以上により営業活動CFは 2,006百万円の資金増。

## 【投資活動CF】

## (収入)

敷金保証金の返還 477百万円

## (支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 702百万円  
敷金保証金の差入 188百万円

以上により投資活動CFは 432百万円の支出。

## 【財務活動CF】

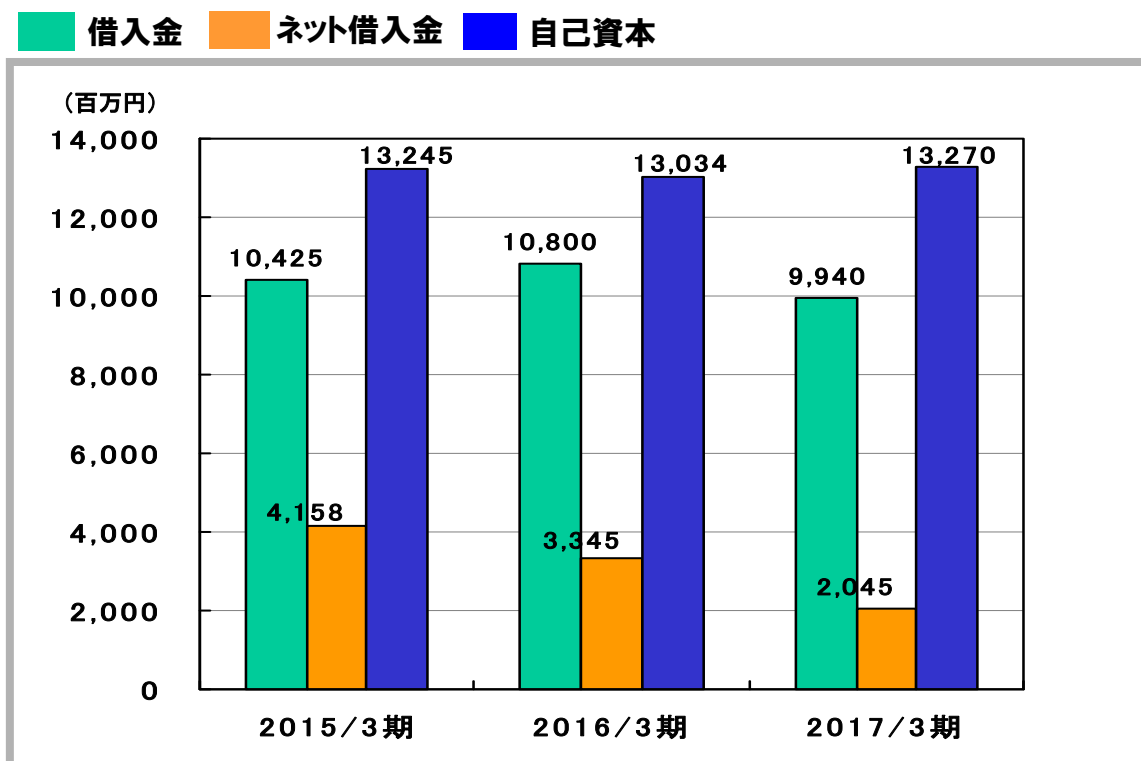
借入金 of 減少 859百万円(純額)

配当金支払 267百万円 など

以上により財務活動CFは 1,131百万円の支出。

## 7 財務の状況

### ■借入金と自己資本の推移

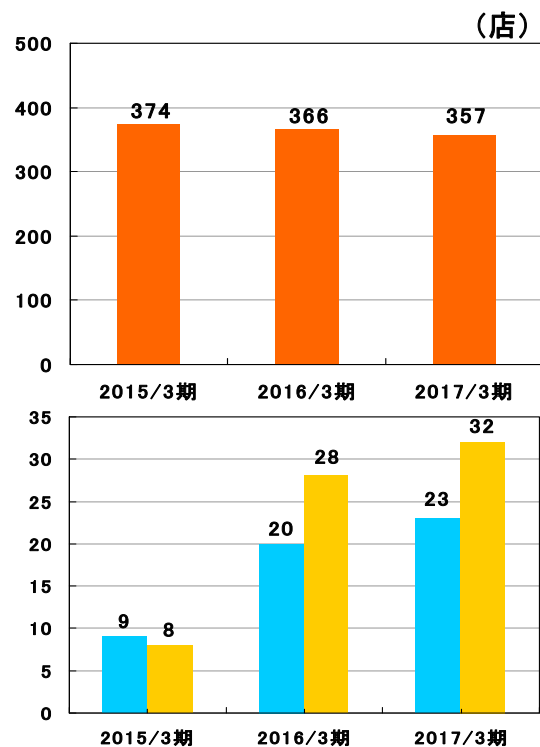


- 借入金の残高は、前年より△860百万円減少し9,940百万円、現預金7,895百万円を控除したネットの借入金ベースにおいても2,045百万円となっております。
- 基本的な財務スタンスは相応の手許流動性の水準を維持しつつ、借入金を漸減させる方針。

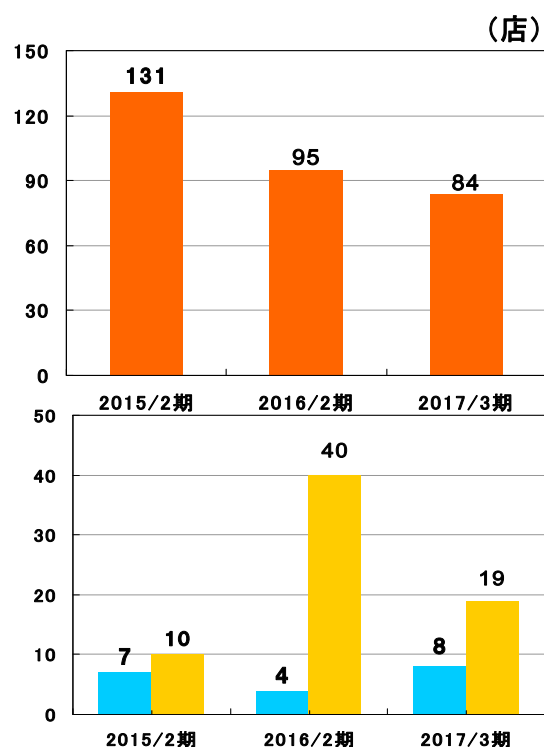
## 8 店舗展開の状況

### 宝飾専門店 『As-meエステール』

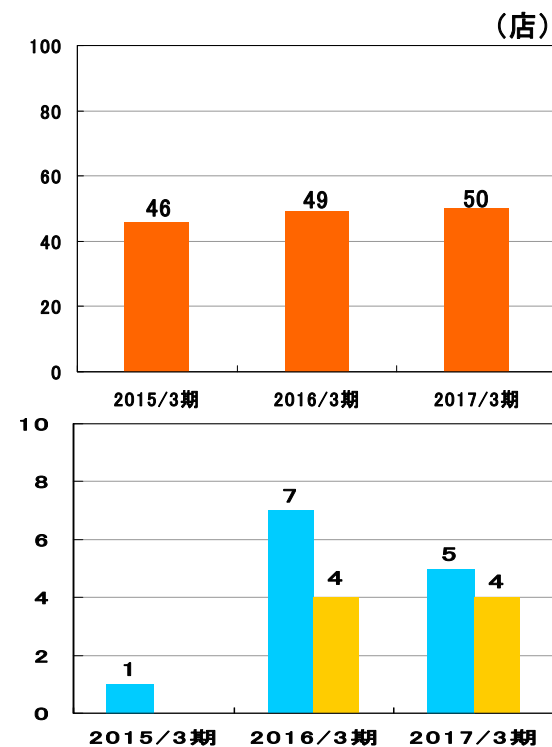
■ 期末店舗数 ■ 出店 ■ 退店



### アクセサリ・宝飾専門店 『BLOOM』



### メガネ専門店 『キンバレー』



(注1) BLOOMは、上記84店舗のなかに消化仕入契約に基づく百貨店等での販売が含まれております。

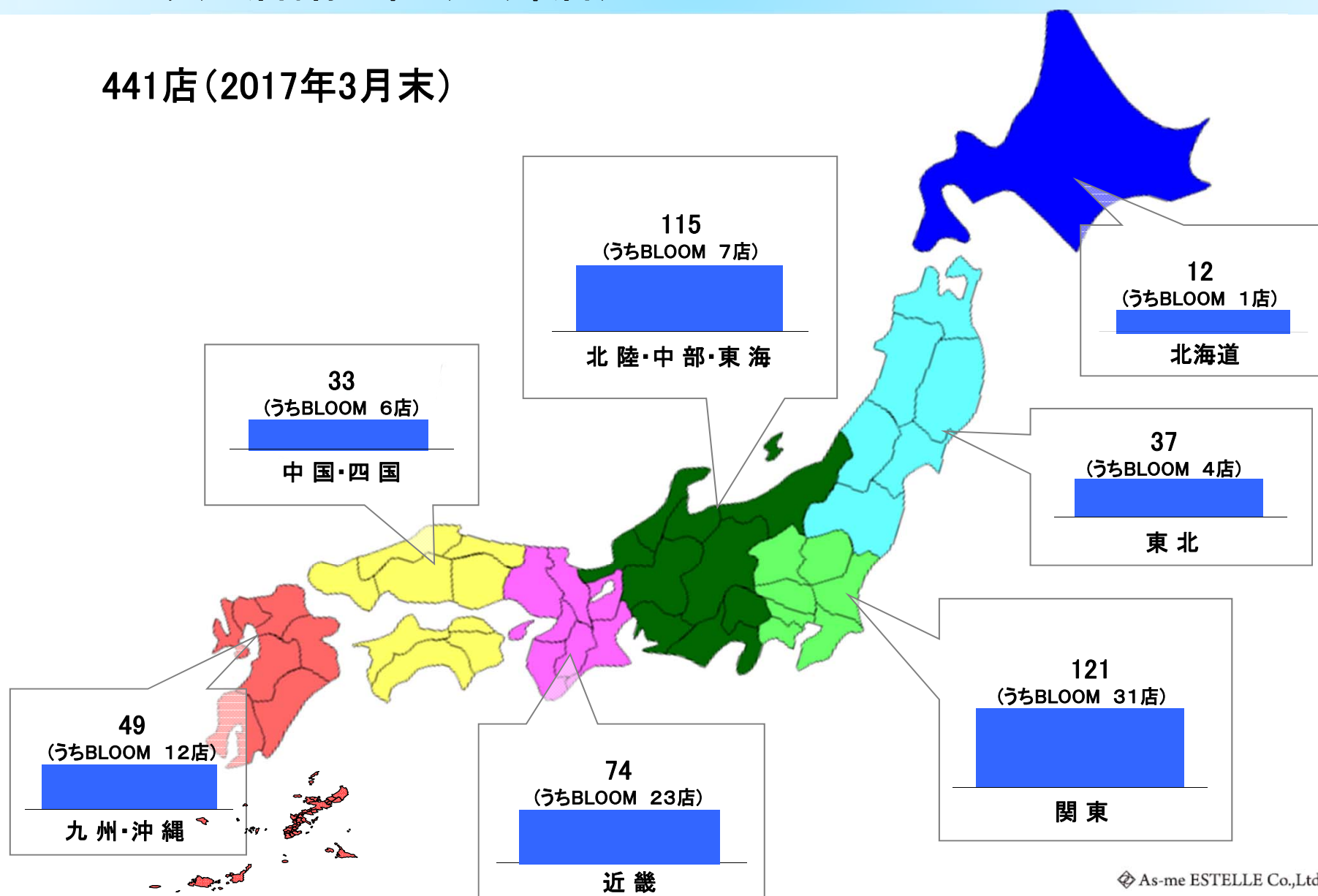
(注2) As-meエステールは他に百貨店11店舗でブランド展開(コーナー名「グッドネス」)  
(そごう・西武、高島屋、三越伊勢丹、阪急)

(注3) 宝飾品海外店舗は以下の通り

ベトナム: ハノイ(5) ニアチャン(1) ホーチミン(3) 、中国: 杭州(1) 上海(1) 、カンボジア: プノンペン(1)

## 9 地域別店舗配置(宝飾店)

441店(2017年3月末)



## 10 通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	2017/3期	2018/3期 (業績予想)	前期比 増減率
売上高	32,579	31,850	△2.2%
営業利益	1,360	1,390	2.2%
経常利益	1,292	1,320	2.2%
当期純利益	436	505	15.8%

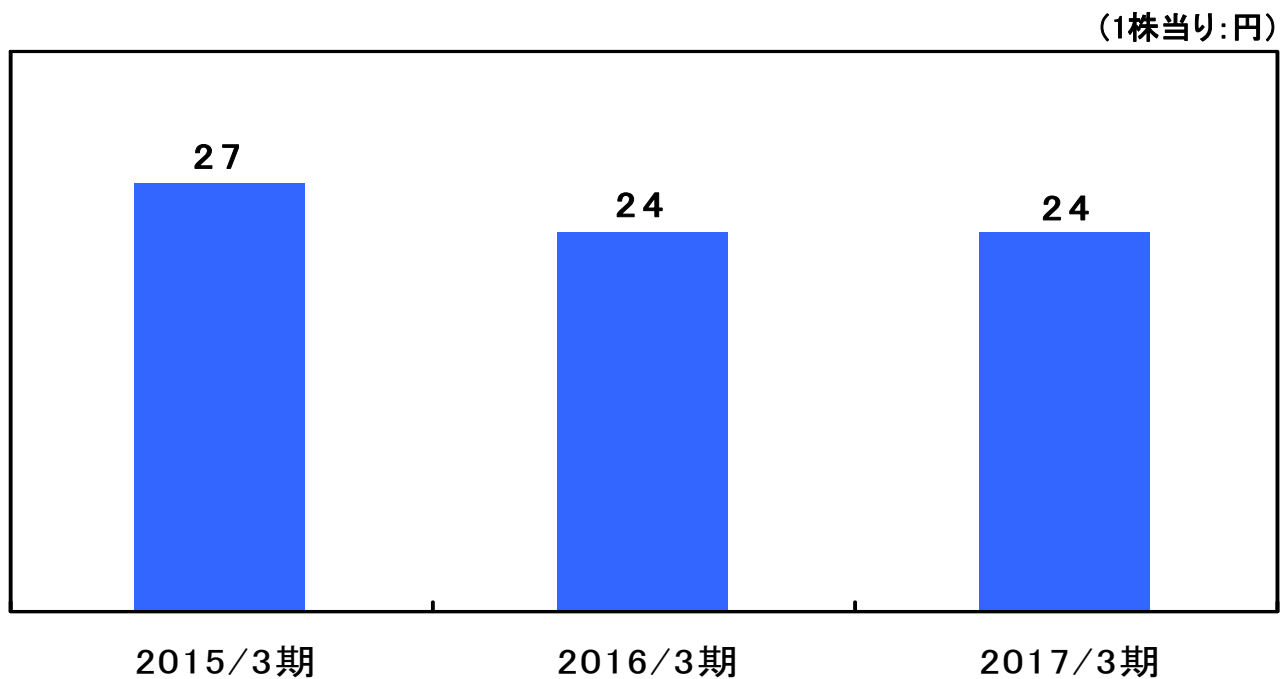
■売上高は、不採算店舗の整理等により、前期比△729百万円(△ 2.2%)減を見込んでおります。

■「顧客層の拡大」に向けた諸施策を引き続き展開するとともに、BLOOMを含めたグループ全体の多様な顧客層への認知度の向上とアクセサリーからジュエリーまで魅力的な商品展開を強化し、お客様から信頼される店舗運営に取り組み、営業基盤の充実を目指します。

■また、引き続きスクラップ&ビルドを推進し、収益力の強化を図るとともに、成長戦略を担う事業の育成に取り組み、販売促進・営業企画に力点を置いたメリハリのある経費配分と経営管理体制の強化を行ないます。以上の施策により、営業利益、経常利益ともに前期比 2.2%増を見込みます。

当期純利益は、同15.8%増を見込んでおります。

## 11 配当実績と予定



2015年3月期は、普通配当の24円に当社株式の東京証券取引所市場一部指定の記念配当を3円追加して1株あたり27円の期末配当をお支払いしました。

2017年3月期は、普通配当として24円をお支払いする予定です。

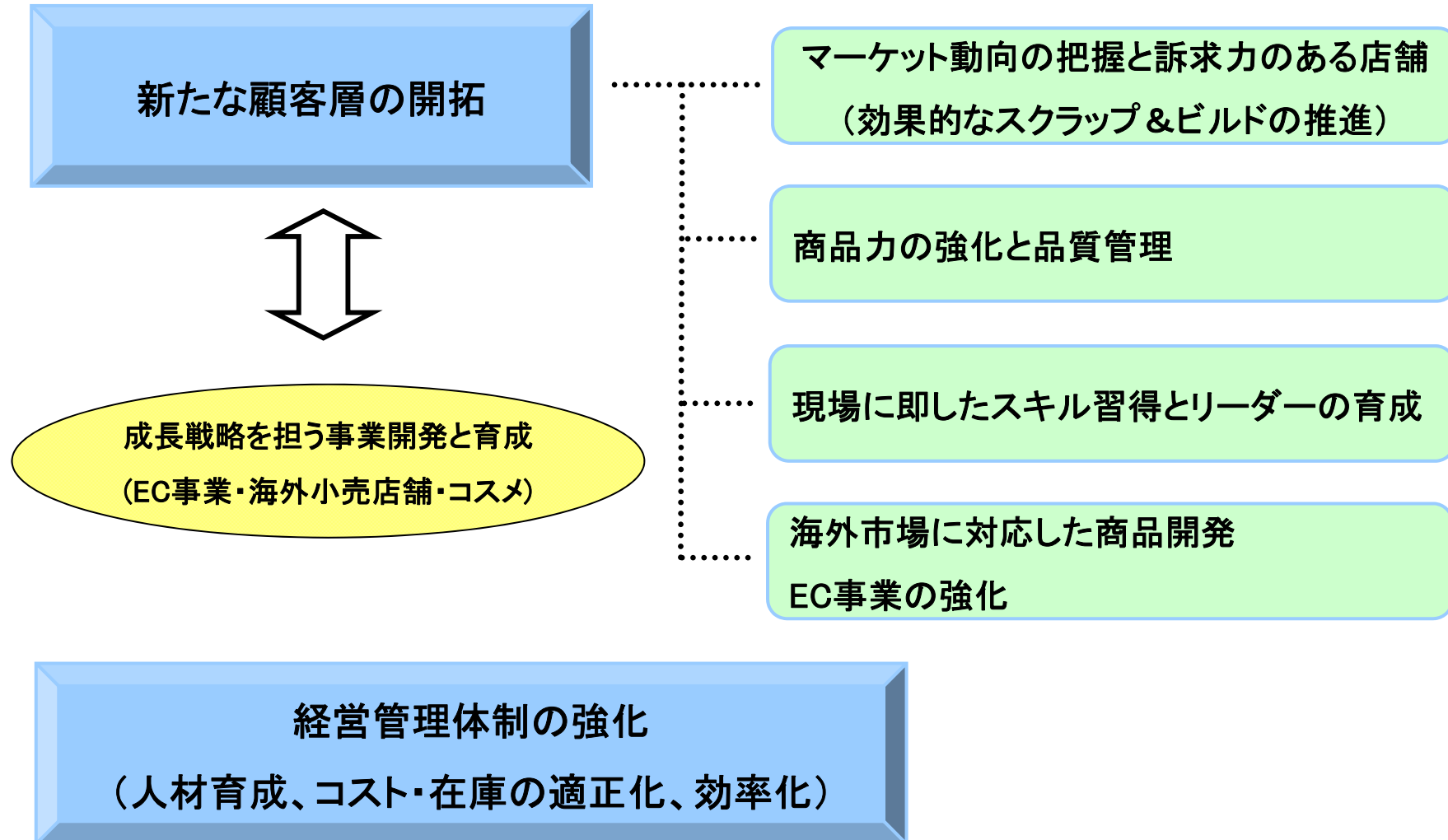


## Ⅱ. 今後の方向性

1. 中期経営計画の重点課題
2. マーケットの拡大
3. 中期経営計画の収益目標

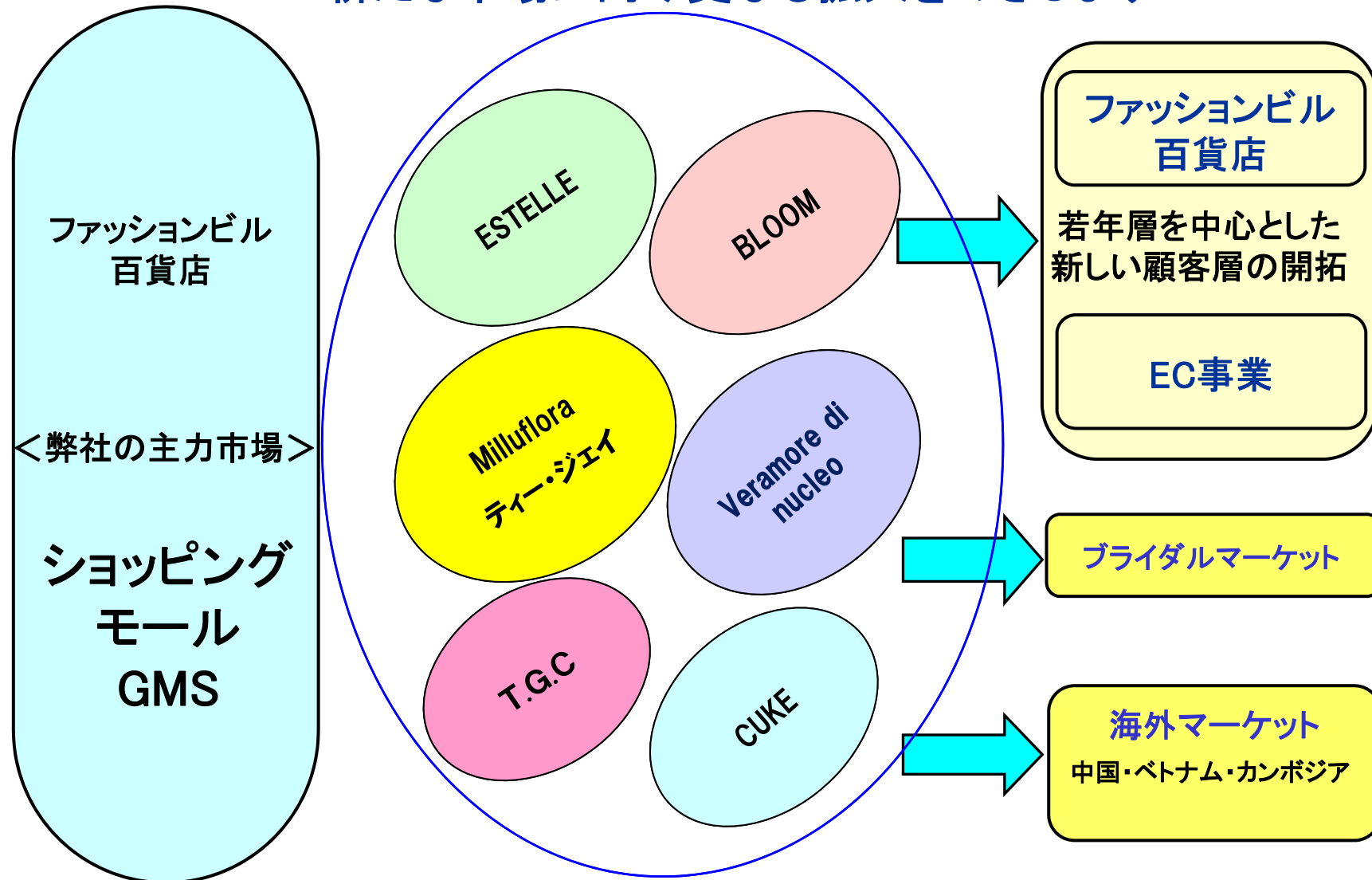


# 1 中期経営計画の重点課題



## 2 マーケットの拡大

新たな市場に向け更なる拡大をめざします



### 3 中期経営計画の収益目標

(単位:百万円)

	2017/3期 (実績)	2018/3期 (計画)	2019/3期 (計画)
売上高	32,579	31,850	32,400
営業利益	1,360	1,390	1,420
経常利益	1,292	1,320	1,350
当期純利益	436	505	560

## 【お問い合わせ先】

As-me エステール株式会社  
管理本部

TEL : 03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われぬようお願い致します。